

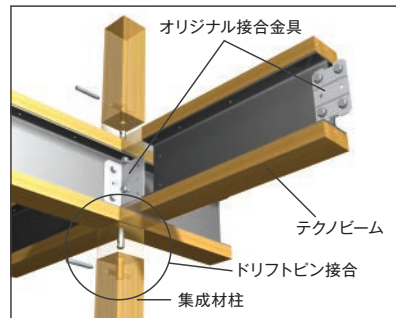
世代を超えて永く住み継ぐ二世帯住宅は、

地震に強い「テクノストラクチャー」で

テクノストラクチャーは、木造住宅の要となる梁と接合部を、オリジナル部材で徹底的に強化したオリジナル工法。独自の構造計算システムで、住宅の設計時には一棟一棟災害シミュレーションを行っています。



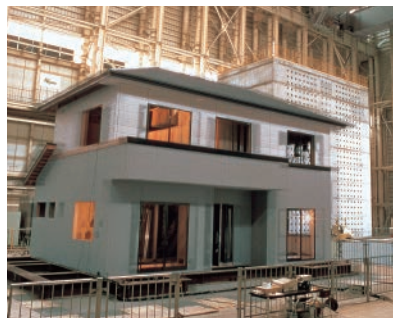
鉄と木のオリジナル複合梁 「テクノビーム」



テクノストラクチャー工法 採用ビルダー体制



実大振動実験で 震度7をクリア



建てる前に一棟一棟 緻密な構造計算



詳しくは、テクノストラクチャーホームページへ

テクノストラクチャー

検索

<https://panasonic.co.jp/ls/pasd/>



安全に関するご注意

- ご入居に際しては、設備等の「取扱説明書」をよくお読みいただくか、テクノストラクチャー工法採用ビルダーである当社にご相談の上、正しくお使いください。
- このカタログに記載の商品は、使用用途・場所など限定するもの、専門施工を必要とするもの、また定期点検を必要とするものがあります。あらかじめテクノストラクチャー工法採用ビルダーである当社にご確認ください。

ご購入の前に

- 外観・プラン・写真等はイメージです。実際のプランと仕様は異なります。
- 商品改良のため、仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。また地域により、掲載のプラン・仕様が実現できない場合があります。
- 印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- このカタログの内容についてのお問い合わせは、テクノストラクチャー工法採用ビルダーである当社にご相談ください。

このカタログの記載内容は2020年6月現在のものです。
カタログに掲載されている写真・文章等の無断転載はご遠慮ください。

パナソニック
耐震住宅工法 **テクノストラクチャー**

ふたつの家族をつなぐ住まい



テクノストラクチャーで建てる

二世帯住宅

つながる「距離」を設計したら、二世帯が楽しくなった。

ふたつの家族がひとつの屋根の下で一緒に暮らす安心感。

仕事や遊びに忙しいときも、協力しながら子育てや家事ができて、自分たちらしい暮らしも、もちろん楽しめる。

いま、そんなメリットから、多くの人が二世帯での暮らしを選択しています。

違う家族だから価値観やライフスタイルが異なるのは当たり前。

だからこそ、ふたつの家族がつながる距離をしっかりと設計することが、幸せな二世帯住宅を創る大切なポイントになります。

みんなで食べると
楽しいね、おいしいね



家事が協力できるから
とても助かるわ



息子と酒を飲んで
語り合う楽しい時間



孫とふれあうことが
生活の張り

交流とプライバシーのバランスに着目した 「距離感設計」でこち良い二世帯同居を

大家族でにぎやかに暮らす楽しさと、気兼ねなく過ごす自由さのバランスを、住まいを考える初期段階でプランニング。家事協力できる工夫も盛り込みましょう。

Plan 1 互いを尊重する [独立型]



プライバシーを 大切にしたい住まい

お互いの生活スタイルやプライバシーを尊重しながら、気軽に交流も。何かあれば助け合える、近居の安心感も備えた独立型の住まいです。玄関をはじめ、水廻りなどすべての暮らしを別々にしました。息子夫婦との同居におすすめです。



玄関を分離
お風呂を分離
キッチンも分離

Plan 2 つかず離れず [共用型]



親世帯が子育てに 協力しやすいプラン

それぞれの世帯の独立性を保ちながら、親が孫と過ごせるゾーンを設けることで、親世帯が子育てや家事に協力しやすくなります。玄関やお風呂は共有しつつ、食事の好みは違うからキッチンだけは別々に。共働きの方におすすめです。



玄関を共用
お風呂を共用
キッチンも分離

Plan 3 一緒に楽しむ [融合型]



積極的に楽しむ 三世代のふれあい

一緒に料理をつくってみんなで食事をしたり、孫とお風呂に入ったりと、生活のほとんどすべてを一緒に過ごす住まいです。大家族ならではのにぎやかさやふれあいを、たっぷりと感じられます。娘夫婦との同居におすすめです。



玄関を共用
お風呂を共用
キッチンも共用

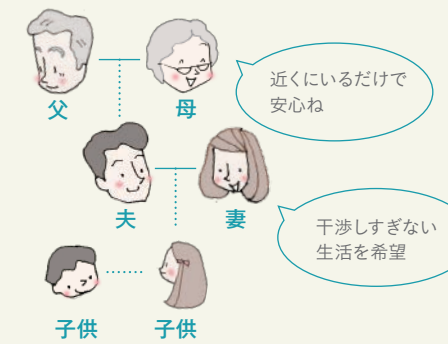


Plan 1 互いを尊重する【独立型】

互いに気兼ねなく、自由な生活を愉しむ

親世帯と子世帯の生活空間を完全に分離して、それぞれの専用玄関も備えたプライバシー重視の住まい。
自分らしく暮らす自由さと、大家族のふれあいの楽しみを自在に切り替えて、メリハリのある暮らしができます。

こんなご家族におすすめです



1階床面積 110.00㎡(33.33坪) 延床面積 214.00㎡(64.84坪)
2階床面積 104.00㎡(31.51坪) 総施工面積 236.00㎡(71.51坪)

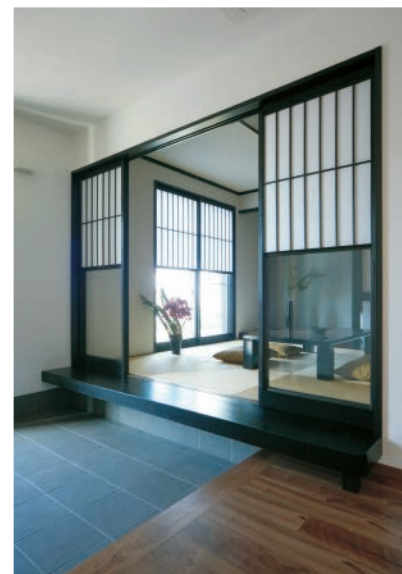


A 一人で趣味を楽しめる 寝室に併設した書斎

寝室の一角に書斎コーナーを併設。読書や写真など、自由気ままに趣味の世界を楽しめます。

B 三世代みんなが集まって 団らんも楽しめるリビング

広いリビングでは、子世帯と一緒に食事をしたりくつろいだりも。ウッドデッキから外に出ることができ、開放的で交流しやすい空間です。



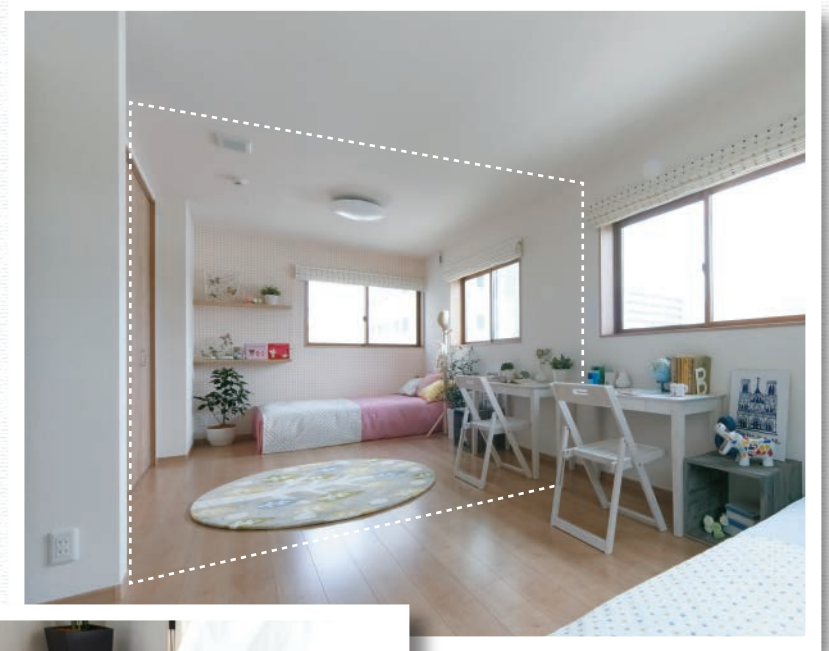
C 夫婦それぞれの来客も 気軽に迎えられる和室

玄関から直接和室に入ることができるため、リビングに居る家族に気兼ねなく、気軽に友人を招くことができます。

1F 親世帯ゾーン



2F 子世帯ゾーン



E 子供の成長に合わせて 個室の間取りをチェンジ

子供が小さい頃は共用ルーム、大きくなったら各々の個室に。家族のライフスタイルの変化に合わせてフレキシブルに間取りを変更できます。



D 子世帯専用の玄関で 夜遅くの帰宅も気兼ねなく

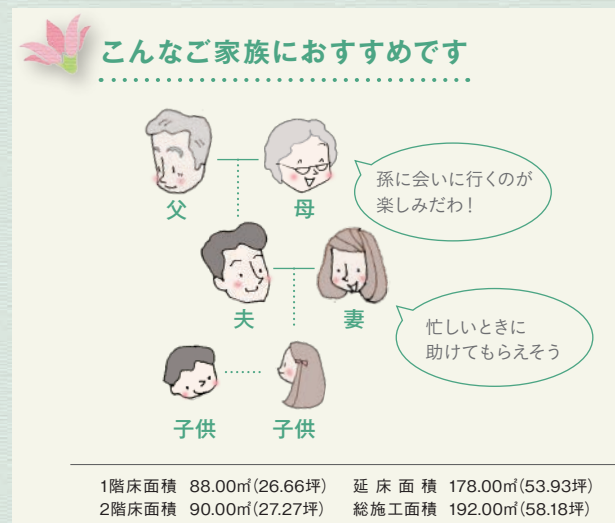
親世帯と完全に分離した玄関なので、夜遅くに仕事から帰っても、両親を起こすことはありません。



Plan2 つかず離れず【共用型】

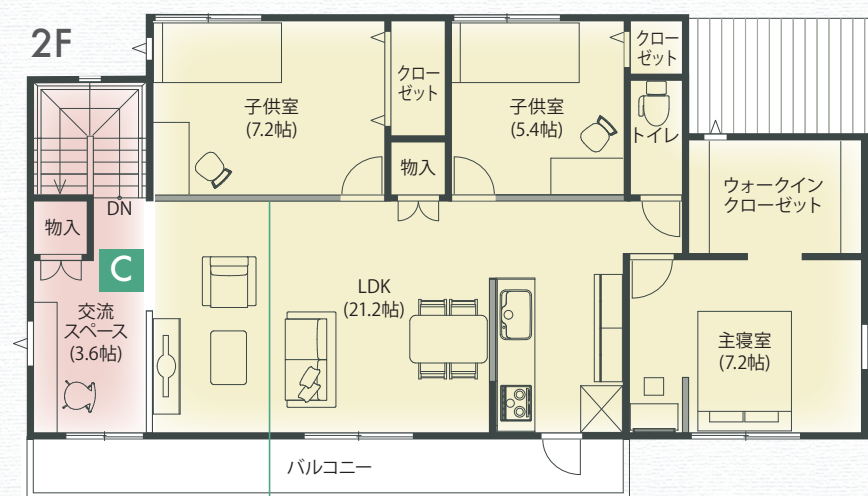
孫を中心にふたつの家族がつながります

階段の近くに、オープンリビングや孫のスタディコーナーなど、両世帯が交流できるゾーンを設けたプラン。
親世帯が気軽に孫と共に過ごす場があることで、子育てや家事に協力しやすくなります。



A 明るく開放的なオープンリビング

三世代がゆっくり、のびのび過ごせる交流ゾーン。建具を採用すれば、来客時や各々のプライバシーを守りたいときに、さっと間仕切って空間を分けられます。



耐力壁としない間仕切壁とすることで、リビングと一体とした使用も可能

親世帯エリア 子世帯エリア 共用エリア

両世帯の共用部位 … 玄関 浴室

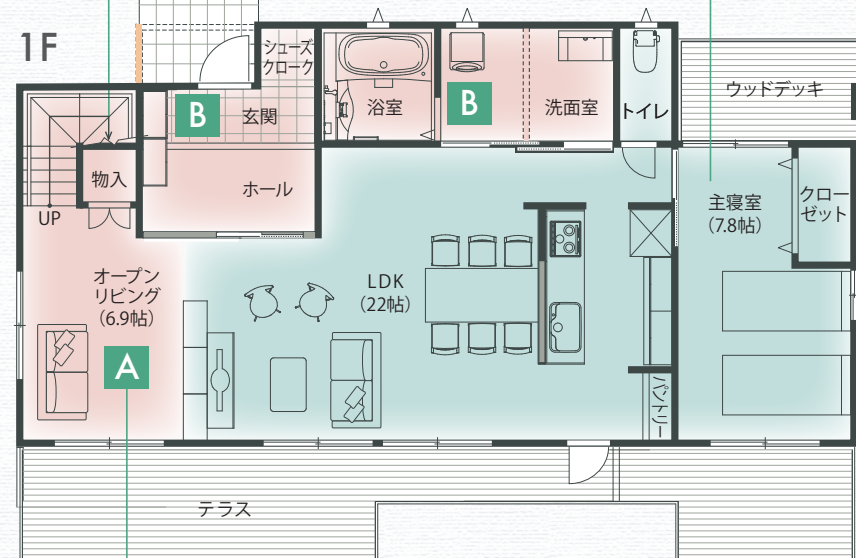
フリーウォール(可変壁)
積雪100cm以上の場合は、袖壁が必要です。

2F 子世帯ゾーン



1F 親世帯ゾーン

共用玄関から2階の子世帯ゾーンに直接移動できる階段
南北に風が抜ける寝室。北側に設けたウッドデッキはお風呂上がりの夕涼みに最適です



階段の近くに三世代が気軽に交流できるオープンリビングを設置

B 玄関とお風呂を共用してふれあい感をアップ

共用の浴室は、親世帯と孫との楽しいふれあいの場になります。

C 祖父母に教わるスタディコーナー

階段付近にはスタディコーナーを設置。子世帯からも目が行き届き、親世帯が2階を気軽に訪れ、一緒に遊んだり、勉強を教えたりできます。





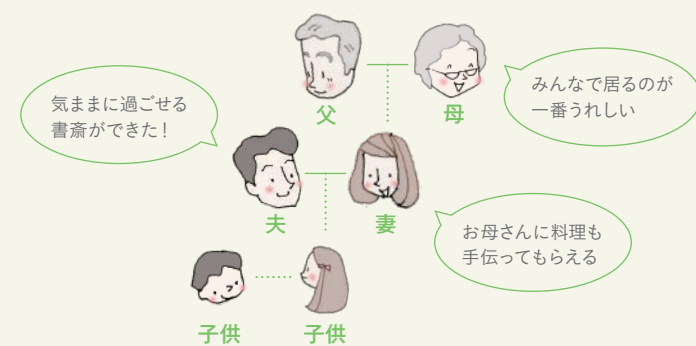
Plan3 一緒に楽しむ [融合型]

三世代が賑やかに集う、楽しい暮らし

玄関からお風呂、キッチンまで共用とし、1階と2階を吹き抜けてつなぐことで、両世帯の親密度をぐっと高めました。子世帯ゾーンには専用リビングや洗面室、パパの居場所を確保する書斎も設けています。



こんなご家族におすすめです



1階床面積 92.00㎡(27.87坪) 2階床面積 78.00㎡(23.63坪) 延床面積 170.00㎡(51.50坪) 総施工面積 190.00㎡(57.57坪)



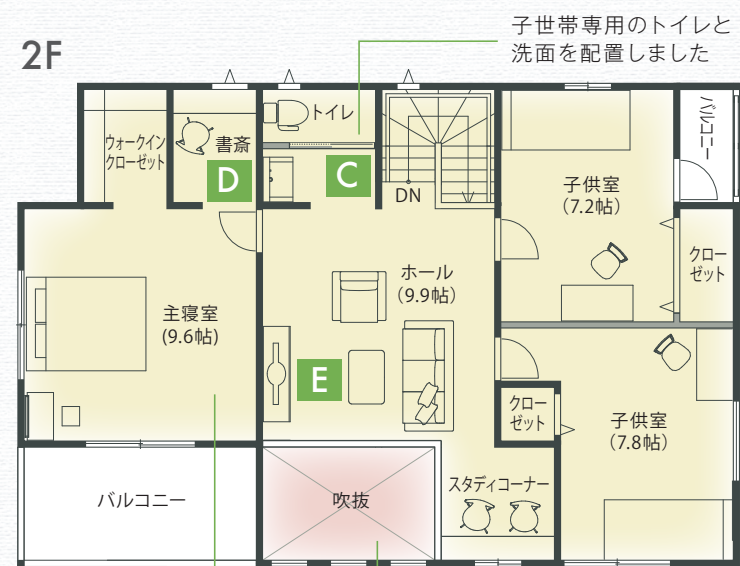
A

大きな吹き抜けて 2階ホールとつながるLDK

三世代が毎日食卓を囲み、団らんを楽しむ広びろしたリビング。吹き抜けが2階の子世帯ホールとのつながりも生み出しています。



2F 子世帯ゾーン



就寝時間の違う両世帯。1階と2階で寝室を同じ位置にして盲対策とできます

吹き抜けでホールと1階リビングが繋がり、家族の気配を感じられます

親世帯エリア 子世帯エリア 共用エリア

両世帯の共用部位 … 玄関 LDK 水廻り

フリーウォール(可変壁)

積雪100cm以上の場合は、袖壁が必要です。

C

専用の洗面で 身支度も

子世帯専用の洗面があれば、出かける前や来客時にさっと身支度できて便利です。



B 将来への備えも万全の 広いベッドルーム

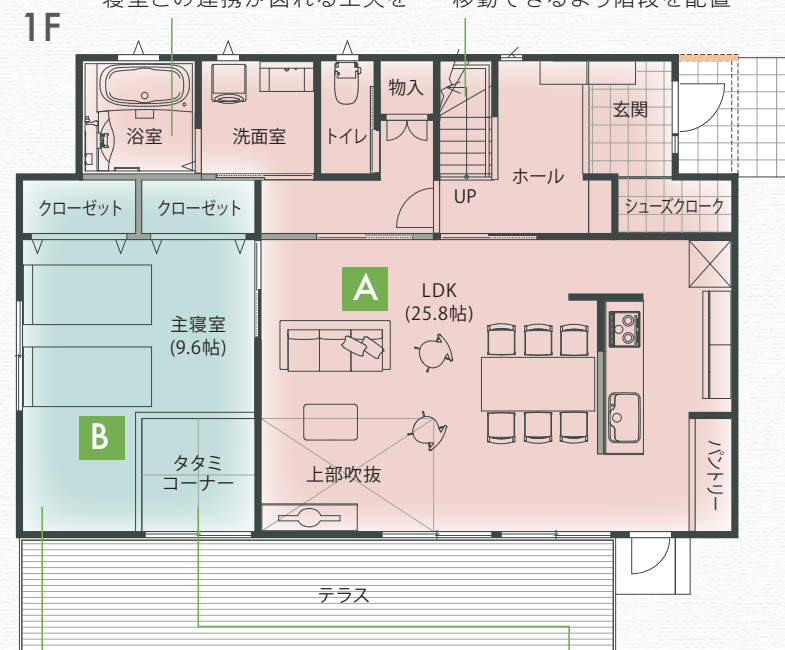
将来の介護に備えて、広い面積を確保した寝室。トイレや浴室にもアクセスしやすい動線です。



1F 親世帯ゾーン

介護が必要になった場合は水廻りをまとめて改装し、寝室との連携が図れる工夫を

玄関から2階に直接、移動できるよう階段を配置



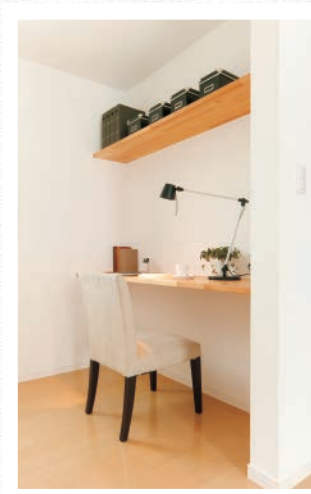
親世帯用に専用のミニキッチンも設けることもできます

将来は、駐車場からテラスを通して寝室への車椅子の動線を確保できます

D

趣味を楽しむ パパの書斎

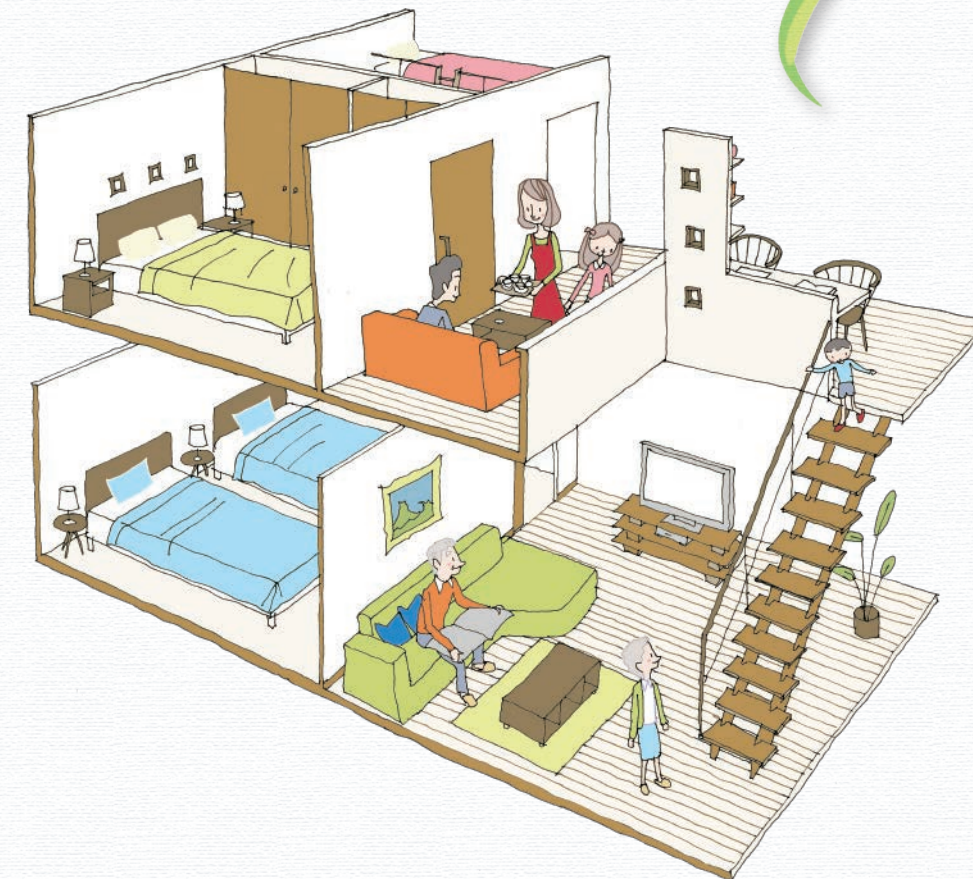
読書やパソコンなど、パパが自分の趣味を満喫できるコーナーを寝室に併設。



E

子世帯だけで過ごすための プライベートホール

2階のホールは子世帯専用のプライベート空間に。限られたスペースでも吹き抜けが開放的な雰囲気を生み出し、ゆっくりとくつろぐことができます。



二世帯住宅のプランニングポイント

ふたつの家族が楽しく暮らすための上手な住まいづくりのコツをご紹介します。

気苦労せずに のびのび暮らす 間取りの工夫

プライバシーを守るゾーニング

住んでみると頻繁に顔を合わせて気まずくなる
といった事態は避けたいもの。プランニング
段階で、親世帯と子世帯の生活空間と共用ゾーン
をしっかりと分けて計画することが大切です。



両世帯の動線は交じらずに

深夜の帰宅でも玄関から直接2階へアクセス
できる。親世帯のリビングを通らずに共用の
お風呂に行けるなど、両世帯の動線が重ならない
ように配慮することがポイントです。



上下階の寝室は同じ位置に

早寝早起きの親世帯と夜更かし得意な子世帯
では、生活時間が異なります。1階と2階の寝
室を同位置にすれば、物音で目が覚めることも
なく、気軽に団らんすることもできます。



住んで実感、防音対策

生活の時間帯が異なるため、トイレの音を
はじめリビングや寝室の物音が階下に響き
がち。住んでからの満足度を高めるためにも、
しっかり防音対策を。



※テクノストラクチャー
の床防音対策仕様を
推奨します。詳しくは
当社までお問い合わせ
ください。

三世代の ふれあいを 楽しもう

孫ゾーンがふたつの家族をつなぐ

親世帯から直接行きやすい場所に孫の部屋を
つくれば、一緒に遊んだり宿題を見たりするの
に子世帯のリビングを通らず、お互いに気がねさ
ずにふれあいを楽しめます。



玄関の近くに交流ゾーンを

玄関を共用にするなら、その近くに交流のための
オープンリビングを設けてみては。親世帯と
子世帯が日常的にふれあう場が生まれ、1階
リビングの緩衝ゾーンとしての機能も果たします。



集まりやすい広いリビング

大家族のあたたかさを一番感じるのが、三世代
での食事や団らん。大勢がゆったりと過ごせる
居心地のいいリビングがあれば、家族が自然
と集まり、会話も弾みます。



母が協力しやすい家事コーナー

働くママには、親世帯
の協力が得られれば
家事がとってもラクに。
広くて動きやすい家事
コーナーがあれば、
洗濯物の室内干しや
アイロンがけなども
手伝ってもらいやす
くなります。



時には自由に 気ままを楽しむ ことも大切

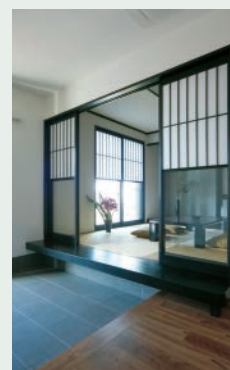
ひとりの時間を愉しむ書斎

親世帯と子世帯が
多くの生活空間を
共有する住まい
では、ひとりの時間
を過ごせる場が
重要に。特に妻の両親
と同居するパパの
場合、専用書斎が
あれば喜ばれます。



それぞれの人付き合いも大切に

玄関から直接和室
に入れたり、テラス
から直接リビングを
訪れたりできれば、
夫婦それぞれの
来客を気軽に招く
ことができます。
リビングに集まる
家族も気にしないで
済みます。



専用の洗面室でゆったり身支度

親世帯と子世帯ゾ
ンには、それぞれ専用
のトイレを設置。お風呂
は共用としながらも、
子世帯トイレに洗面室
を併設すれば、朝の
身支度や来客時にも
便利です。



光熱費の分担で明朗会計

別々に暮らす場合より、二世帯で暮らせ
ば光熱費がぐんとおトクに。世帯ごとにメー
ターを設置すれば、それぞれの使用量が明
確になり、費用を分担しやすくなります。



将来に備えつつ 今も快適に過ごす いろんな対策

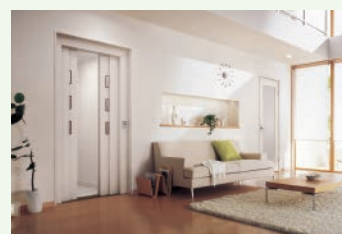
親世帯には引戸を採用

親世帯ゾーンには、開閉動作にムダが少なく、
身体への負担の少ない引戸の採用がおすすめ。
将来車椅子の生活になったときも、ラクに
行き来をすることができます。



上下階の移動にエレベーター

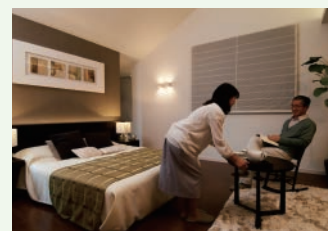
ホームエレベーターがあれば、将来車椅子での
移動はもちろん、現在の生活もしっかりサ
ポート。買い物の荷物や洗濯物の移動など
がラクになります。



※パナソニック ホーム
エレベーターを推奨
します。詳しくは当社
までお問い合わせくだ
さい。

将来に備えた寝室プラン

親世帯の寝室は将来の介護のケースを想定して、
余裕のある広めのスペースを確保。介護改修も
見込んで、寝室からトイレまでの動線は短くし
ておきましょう。



将来の空きスペースも大活用

子供の独立で空いた部屋を夫婦のそれぞれの
趣味スペースにするなど、ライフスタイル
の変化に柔軟に対応できるフリーウォールが
便利です。

